

# コテライザーヒートガン

## 取り扱い説明書



**警告** ご使用前に必ずお読みください。

この度はヒートガンをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本品はブタンガスを使用した熱器具です。ケガや事故を防止するため、以下の使用方法また注意事項を良く読んで理解してから使用して下さい。また、この取り扱い説明書は必ず、保存して下さい。



### ご使用上の注意

- ① ガス注入は火気のある所では行わないで下さい。（ケガ、事故の原因ともなります）
- ② 換気の悪い場所では、使用しないでください。
- ③ あやまって落としたり、ぶついたりして強いショックを与えた場合は製造元サービスセンターに御相談下さい。
- ④ 燃料には必ず当社の純正ガス（コテライザーガス）を使用して下さい。
- ⑤ 作業の中断または、使用後は確実にガスを止めて下さい。
- ⑥ 作業の中断または、使用後は確実にファンスイッチをOFFして下さい（止めて下さい）。
- ⑦ 使用中や使用後10分位は燃焼部分や熱風吹出し口付近に手や身体を触れないで下さい。  
（非常に高温になっていますので火傷の危険性があります）
- ⑧ 製品に水をかけないで下さい。（水、油分、ホコリ等は故障の原因となります）
- ⑨ 分解、改造はお止め下さい。（純正部品以外の装着はしないで下さい）
- ⑩ 溶剤の入ったクリーナーはお使いにならないで下さい。
- ⑪ ファンの吸気口をふさがないで下さい。（故障の原因となります）
- ⑫ 熱風の吹出し口を塞がないで下さい。（故障、事故の原因となります）
- ⑬ 風量が弱くなった場合は直ぐに新しい電池とお取替え下さい。（電池により使用時間に差が出ます）



### 保管上の注意

- ① 40℃以上の場所や直射日光のあたる場所には置かないで下さい。
- ② 車中での保管、放置はお止め下さいガス圧が高くなり、火災・爆発の原因になります。  
（特にフロントガラス等の窓のそば及びトランクルーム内の保管、放置は大変危険です）
- ③ 幼児の手の届かない所に保管してください。
- ④ 燃焼部及び熱風吹出し口付近が冷えてから収納して下さい。
- ⑤ ご使用後暫く使わない、また長期保管の場合は電池を外して保管して下さい。

### ガスの充填方法



ガス量の確認は写真矢印部分にて確認出来ます。  
ガス量が少ない場合はコテライザー専用ガスを補充します。  
ガス確認窓は（左の写真）溶剤で曇る場合があります、ご注意下さい！



ガスの充填は左の写真の様に充填して下さい。



火気のある場所での充填はお止め下さい。

### 電池の装填方法



矢印方向にスライドさせて外します

左の写真の様に電池蓋をスライドさせて外します。



(←写真参照) 電池ケースの表示に電池の+/-を合わせて  
単三電池4本をケースに装填します



左の写真の様にセットします。






○の位置を合わせる

電池ケースの○印と本体の○印を合わせる様にして  
電池ケースを本体に挿入します。  
最後に電池蓋を閉めて下さい。


### 各部の名称





## ご使用方法 ①使用開始




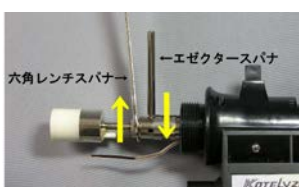

	ヒートガンをお買い求めの時にはコントローレバーはガス量が左の写真の様に最大位置にセットされています。
	まずコントロールレバーをセンター付近にします。 (冬季はプラス側に、夏季はマイナス側に調整します)
	オープンレバーを少し持ち上げるようにしてOFF位置からON位置にスライドさせます。 (左の写真参照)
	着火レバーを矢印方向へ押し下げます。 (この状態で2秒ほどお待ち下さい)
	着火確認窓がオレンジ色になった事を確認して 着火レバーからゆっくり手を離します (熱源のガス触媒燃焼反応が始まります)
	ファンスイッチをON側にスライドさせます。 (LEDが点灯し、ファンが回り始めます)
ガスコントロールレバーをスライドさせて 必要温度にガス量を調整します (必要以上のガス吐出はヒートガン、収縮チューブに 悪影響を及ぼす事があります・・・ご注意下さい)	

## ご使用方法 ②作業終了

	ご使用後は最初にオープンレバーを少し持ち上げるようにしてON位置からOFF位置にスライドさせます。 (左の写真参照)
---	---

	<p>使用後は（特に長期保管時には必要です）コントロールレバーをガス量最大位置にお戻しになる事をお勧めします</p>
	<p>ファンスイッチをOFF側にスライドさせます。 （LEDが消灯し、ファンが止まります） ファンスイッチはガスを止めてから1～2分後にお止め下さい</p>
<p>ご使用後の取り扱い、及び保管は各部分の温度が十分下がった事を確認して下さい （思わぬケガや火傷、事故の危険性があります）</p>	

### 火口ユニット・エゼクターの交換方法

		<p>① ローレットキャップをまわして外します。 ② ローレットをはずした後、慎重に引き抜きます。</p>
	<p>リード線を持って、ゆっくり引き抜きます。</p>	
	<p>写真の様に付属のエゼクタースパナを差込み、指で押さえます。 付属の六角レンチでナットを緩め、火口を外します。 （火口セラミック部分は破損しやすい為、お気をつけ下さい）</p>	
	<p>エゼクタースパナをまわしてエゼクターを外します。 （シャッターは変形しやすい為、取り扱いはお気をつけ下さい）</p>	
<p>今度は新しいエゼクターをこれまでと逆の手順で取り付けます。 （シャッターは変形しやすい為、取り扱いはお気をつけ下さい）</p>		

	<p>エゼクターの孔にエゼクタースパナを差し込み 火口がスパナにあたり止るまでねじ込みます (スパナが高さ調整の役割をします)</p>
	 <p>エゼクタースパナを差し込んだまま六角レンチで ナットを締め、火口を固定して下さい。 (リード線と矢印部分を一直線にします)</p>
	 <p>リード線をセラミックパイプ内に しっかりと差し込みます。 着火ボタンを押して点火プラグ(黄○内)に 火花が出る事を確認します。</p>
	<p>① 軽く矢印方向へ差し込みます ② ローレットキャップを矢印方向へ回して固定します。</p>

**\* 燃焼ユニットパイプ部の交換は上記火口ユニット・エゼクターの交換方法を参考にして交換して下さい。**

使用条件
<p>ガスを熱源に致しています関係上、ご使用は周囲の温度が10～30℃の範囲でご使用下さい。 上記の条件を満たさない場所では十分な性能が得られない場合があります。</p>

故障と判断される前にいま一度お読み下さい。
<p>①ガスは入っていますか、少なくなっていないですか？ ②コテライザーガスをお使いですか？ (他社製のガスには使用出来ない物もあります、またお使いの場合は保証の対象外となります) ③電池は入っていますか？また弱っていませんか？ ④ファン空気取り入れ部に埃が溜まっていませんか？ ⑤ヒートガンに使われている触媒、火口、エゼクターは消耗品です 機能の低下、また詰りが生じた場合は交換する必要があります。</p>

オプション品

<p>ホットブロー (140-01-52)</p> 	<p>サスパイプユニット (140-03U)</p> 	<p>ヒートシュリンク (140-01-55)</p> 
<p>火口ユニット (80-04U)</p> 	<p>エゼクターユニット (80-07U)</p> 	<p>六角ナットスパナ (80-40)</p> 
<p>エゼクタースパナ (80-35)</p> 	<p>専用ガスボンベ 150 g (70-59)</p> 	<p>専用ガスボンベ 270 g (70-60)</p> 

故障、修理のお問い合わせは弊社サービスセンター  
またはお取次店にご相談下さい。

〒355-0225 埼玉県比企郡嵐山町鎌形 683

TEL:0493-62-7295 / FAX:0493-62-3895

<http://www.nakajimadoko.co.jp>

E-mail: [kotelyzer@nakajimadoko.co.jp](mailto:kotelyzer@nakajimadoko.co.jp)

**NAKAJIMA**

製造元 中島銅工株式会社